

サイドスカート 取付要領書

品番:D2611-63610-XX
MSD44-52007/8-XX

設定型式: MXPB1#/MXPJ1# 設定グレード: 全車


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、サイドスカートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。
本商品とカラードフェンダーを同時装着の場合は、カラードフェンダーを取り付け後
本商品を取り付けて下さい。

取り付け上の注意事項

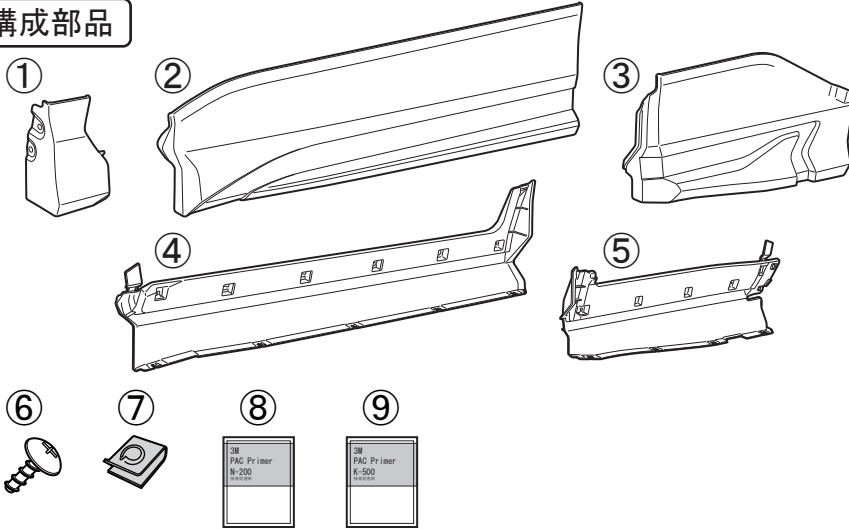
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマーN-200、PACプライマーK-500を本品に添付)
- (重要)** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- (重要)** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要)** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)
- (重要)** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- サイドスカートが、車両に確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に**圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、サイドスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とサイドスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

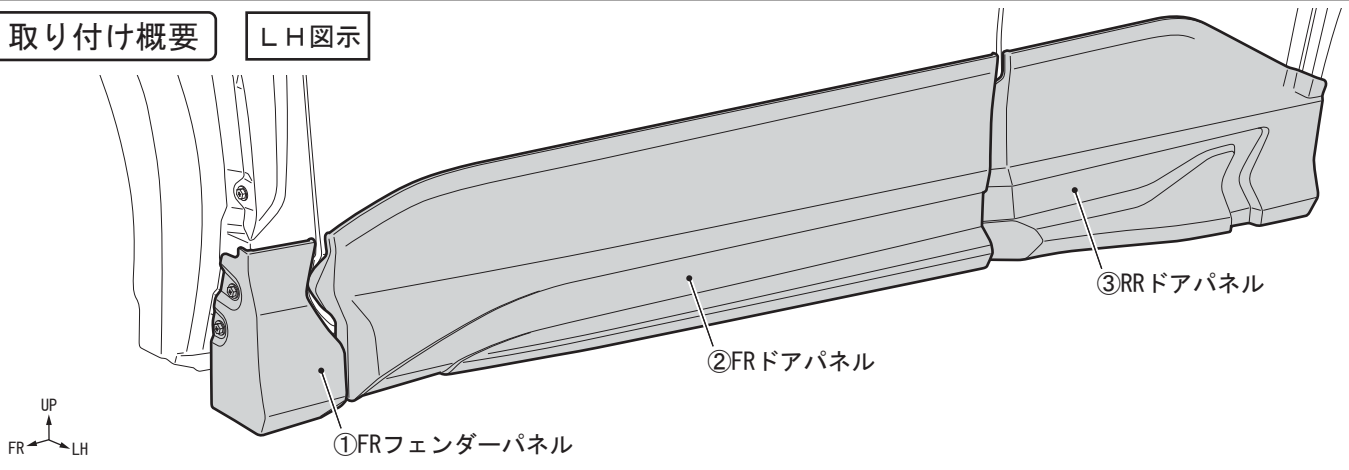
構成部品



No.	品名	個数
①	FRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
②	FRドアパネル (RH/LH)	各1
③	RRドアパネル (RH/LH)	各1
④	FRドアインナー (RH/LH)	各1
⑤	RRドアインナー (RH/LH)	各1
⑥	Bタッピングスクリュー (M4×12)	1 8
⑦	Uナット (M4)	1 8
⑧	PACプライマー (N-200)	1
⑨	PACプライマー (K-500)	1

取り付け概要

LH図示



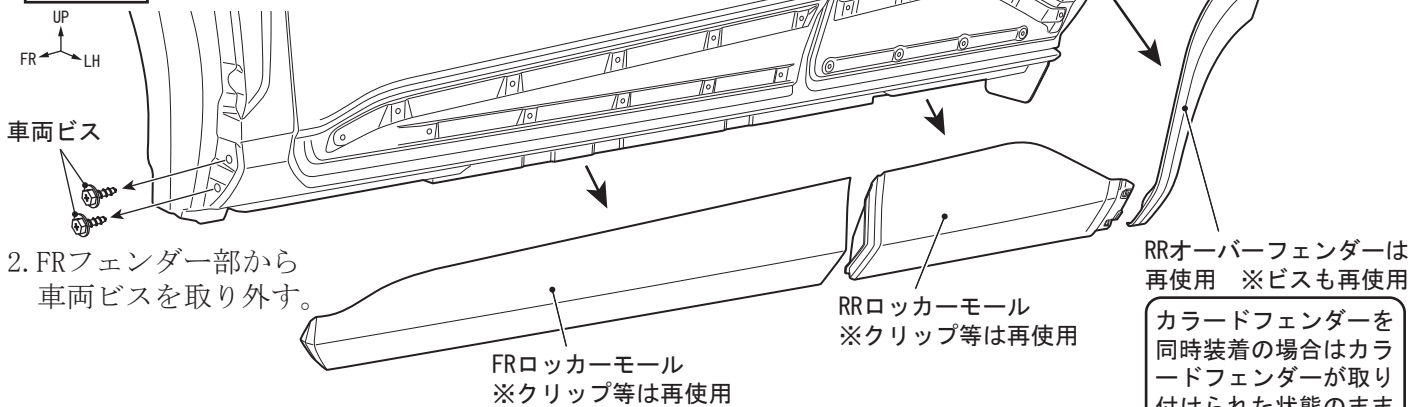
取り付け手順

※以下の手順はLH側を図示しています。RH側も同様に行ってください。

(1) 部品の取り外し

1. 車両からFR・RRロッカーモール、RRオーバーフェンダーを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に



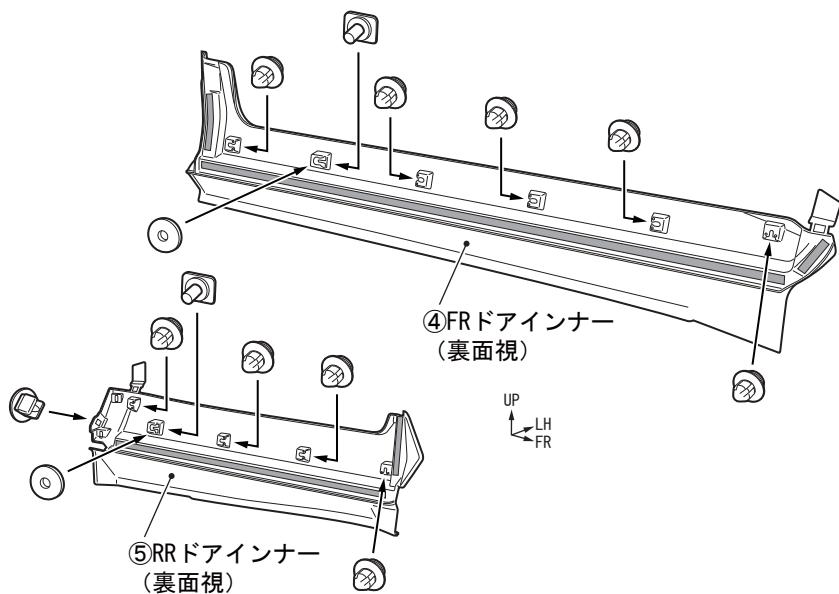
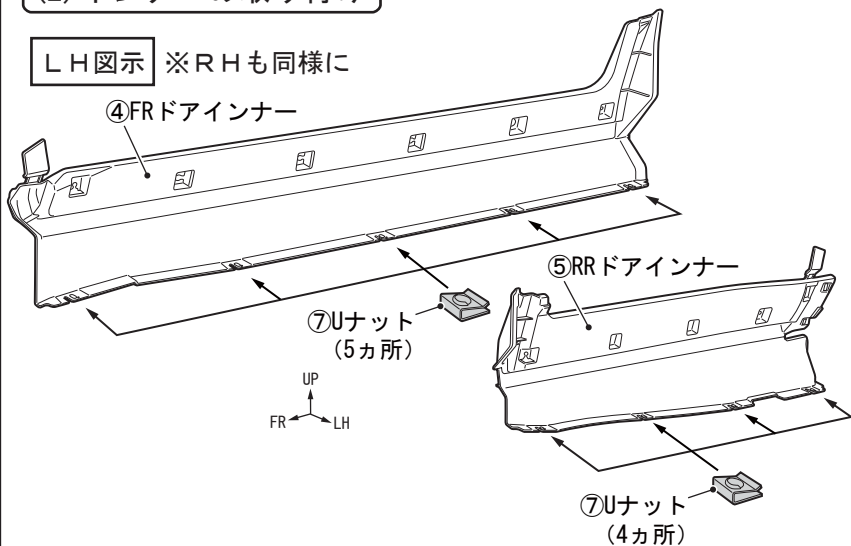
アドバイス

- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。
- ・取り外した車両 RR オーバーフェンダー、クリップ、ビス等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

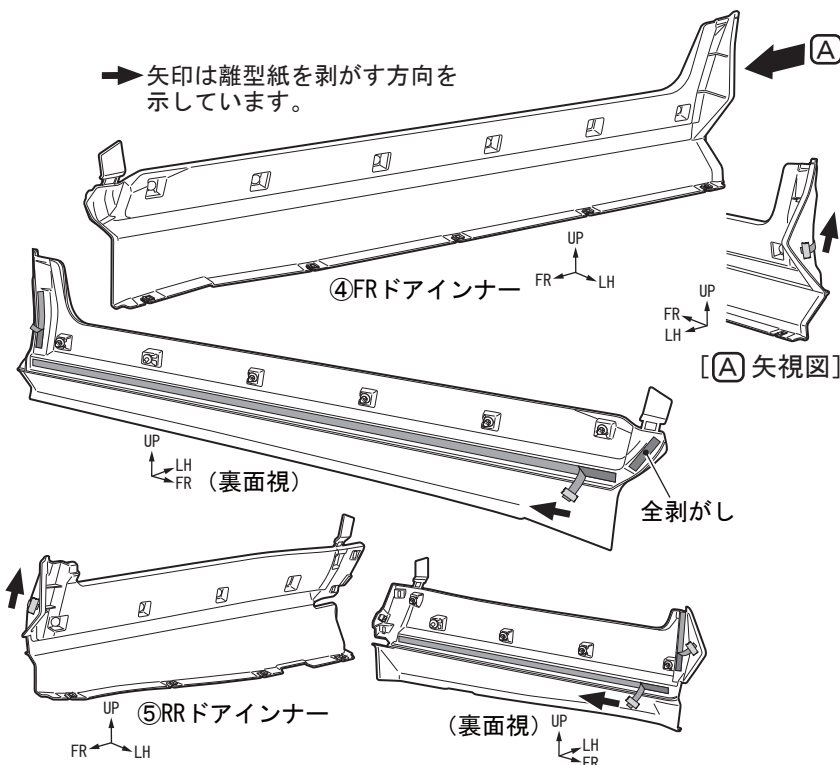
カラードフェンダーを同時装着の場合はカラードフェンダーが取り付けられた状態のままRRオーバーフェンダーを取り外して下さい。

(2) インナーの取り付け

LH図示 ※RHも同様に

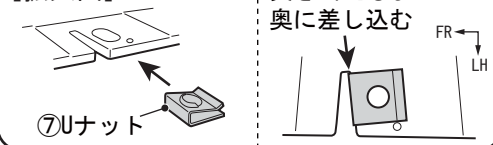


→ 矢印は離型紙を剥がす方向を示しています。

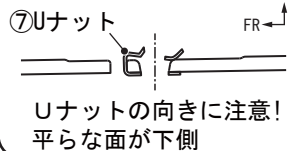


- ④FRドアインナーと⑤RRドアインナーに⑦Uナットを取り付ける。
(左図・下図参照)

[拡大図]



[断面図]



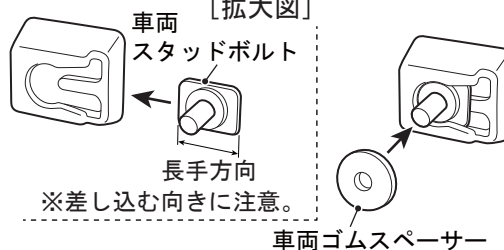
- ④FRドアインナーと⑤RRドアインナーに車両クリップ、スタッドボルト、ゴムスペーサー、車両グロメットを取り付ける。
(左図・下図参照)

[拡大図]



- ④FRドアインナー: 左右各5カ所
- ⑤RRドアインナー: 左右各4カ所
- ※外した車両クリップ全部は使用しません。

[拡大図]



- ④FRドアインナー: 左右各1カ所
- ⑤RRドアインナー: 左右各1カ所

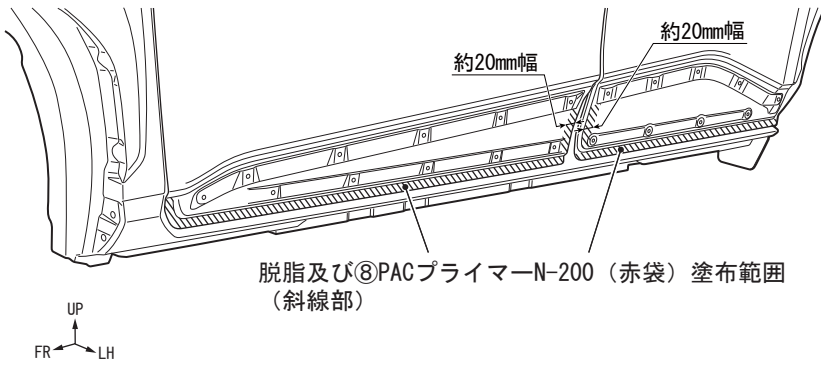
[拡大図]



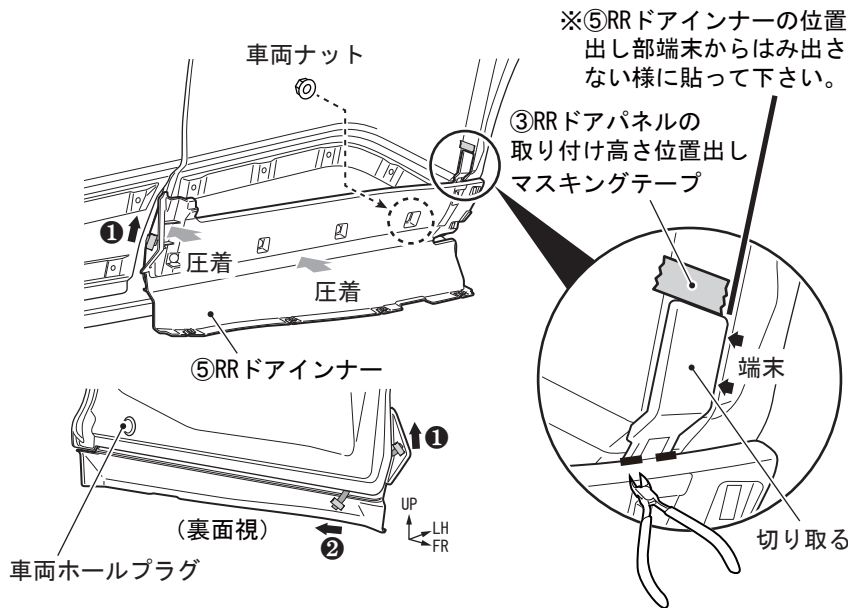
- ⑤RRドアインナー: 左右各1カ所

- ④FRドアインナーと⑤RRドアインナーの裏面(車両側)の両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

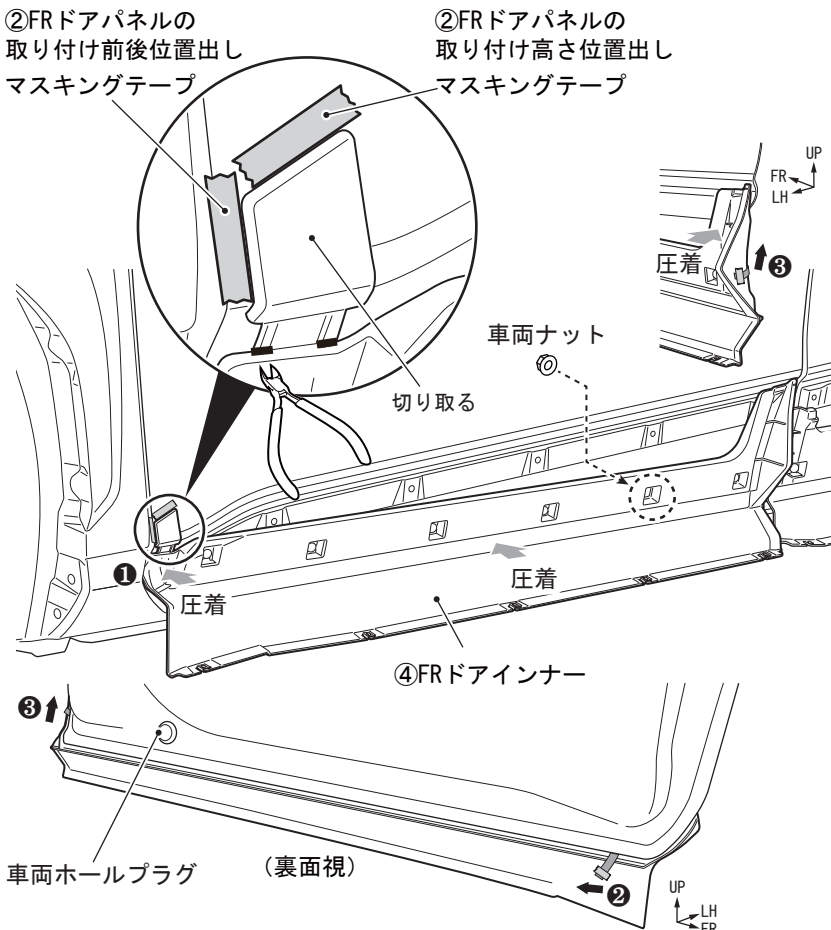


脱脂及び⑧PACプライマー-N-200 (赤袋) 塗布範囲 (斜線部)



※⑤RRドアインナーの位置出し部末端からはみ出さない様に貼って下さい。

③RRドアパネルの取り付け高さ位置出しマスキングテープ



②FRドアパネルの取り付け前後位置出しマスキングテープ

②FRドアパネルの取り付け高さ位置出しマスキングテープ

4. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を一方向に拭いて脱脂し、⑧PACプライマー-N-200を塗布する。
(左図参照)

アドバイス

- ・PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- ・PACプライマーは、必ず塗布部位によって使い分けてください。

- 塗装部分：N-200 (赤袋)
- 素地部分：K-500 (青袋)

5. ⑤RRドアインナーを左図の様に、車両リヤドアに合わせ、クリップを嵌合させて、スタッドボルトを車両内側から車両ナットで仮締めする。
両面テープ離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着し、ナットを本締めする。(左図参照)
※車両ホールプラグを復元して下さい。

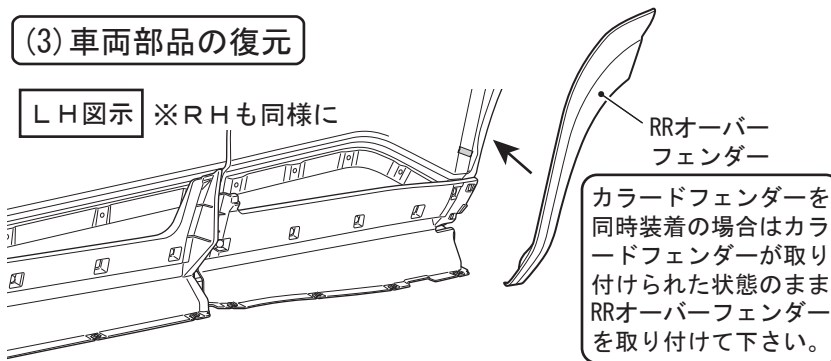
6. 位置出し形状 (左図○部) の先端に合わせ、③RRドアパネル取り付け高さ位置出しのマスキングテープを、末端からはみ出さない様に貼り付ける。
貼り付け後、位置出し形状を左図太線の箇所でニッパー等で切り取る。
※車両に傷をつけない様に注意して下さい。

7. ④FRドアインナーを左図の様に、車両フロントドアに合わせ、クリップを嵌合させて、スタッドボルトを車両内側から車両ナットで仮締めする。
両面テープ①を圧着し、両面テープ離型紙を②③の順に矢印の方向に引き抜き圧着し、ナットを本締めする。
(左図参照)
※車両ホールプラグを復元して下さい。

8. 位置出し形状 (左図○部) の先端に合わせ、②FRドアパネル取り付け高さ位置出しのマスキングテープを貼り付ける。
貼り付け後、位置出し形状を左図太線の箇所でニッパー等で切り取る。
※車両に傷をつけない様に注意して下さい。

(3) 車両部品の復元

LH図示 ※RHも同様に



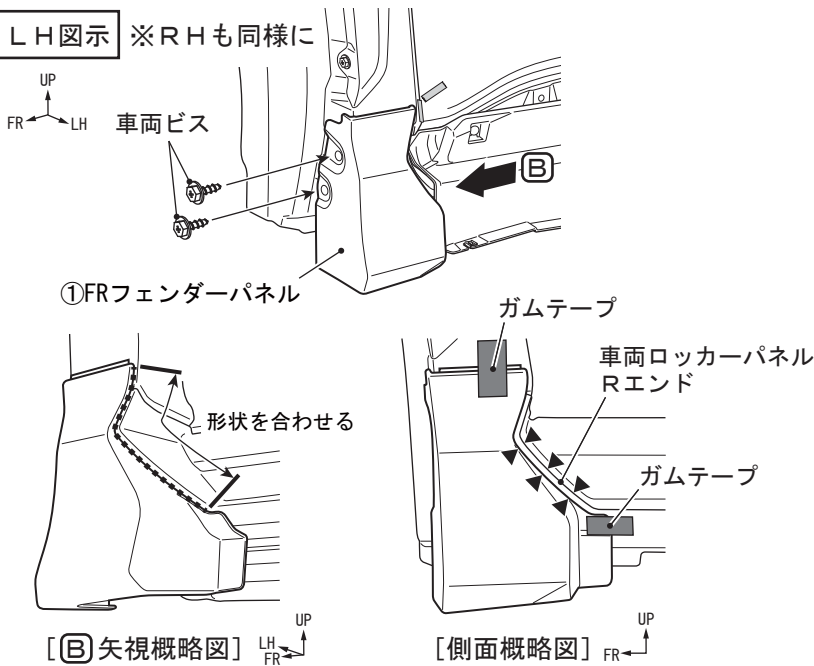
1. 車両RRオーバーフェンダーを復元する。
※タイヤハウス面の車両ビスは止めないで下さい。③RRドアパネル取り付けの際に固定します。

👉 アドバイス

・取り付けの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。

(4) アウターパネルの仮組

LH図示 ※RHも同様に



1. ①FRフェンダーパネルを車両の形状に合わせて車両にあて、タイヤハウス面を車両ビスで仮締めする。

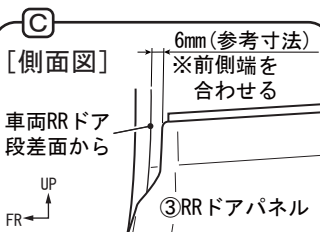
左図 [B] 矢視概略図の破線部

①FRフェンダーパネル端末と車両形状を合わせる。

左図 側面概略図の ▶ ◀ 間

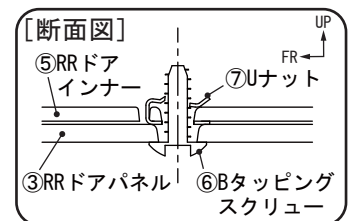
①FRフェンダーパネル端末と車両ロッカーパネルRエンドの幅を一定にしてゴムテープ等で仮固定する。

(左図参照)



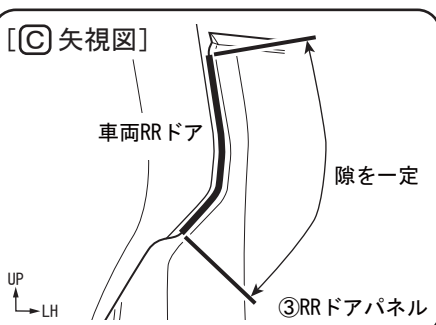
2. ③RRドアパネルを⑤RRドアインナーに被せ、下面を⑤RRドアインナーの下面に押し当てながら、⑦Uナットに⑥Bタッピングスクリューで仮締めする。

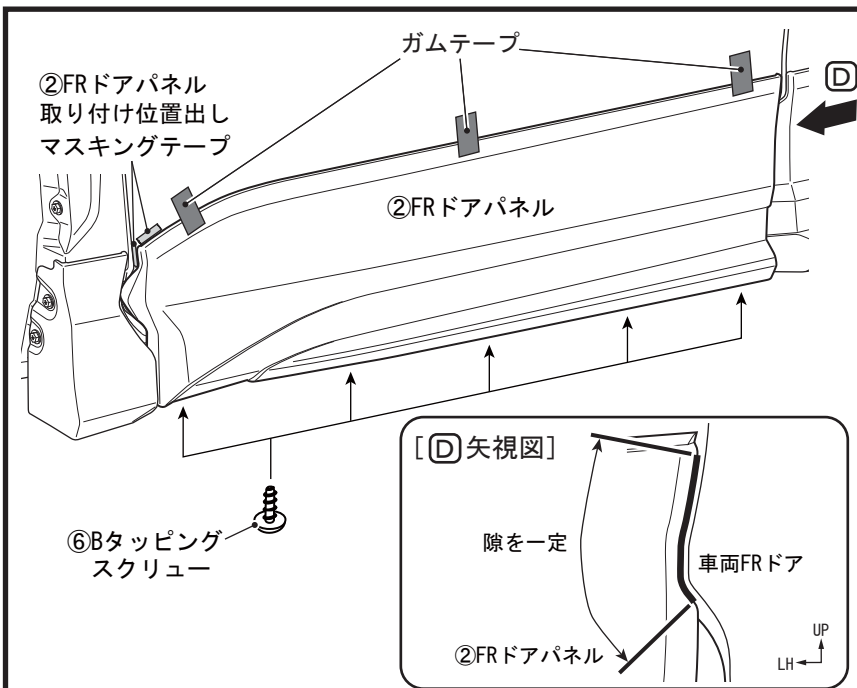
(4カ所)



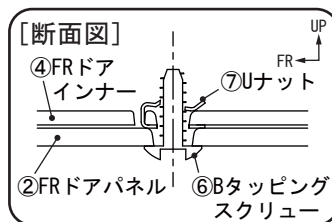
後方を車両RRドアにマークしたマスキングテープにモール上端を合わせ、タイヤハウス面を車両ビスで仮締めし、前方左図 [C] 部の隙を一定にし、車両RRドアの段差面から③RRドアパネルの端末を6mm (参考寸法) に合わせ上部をゴムテープ等で仮固定する。

(左図参照)





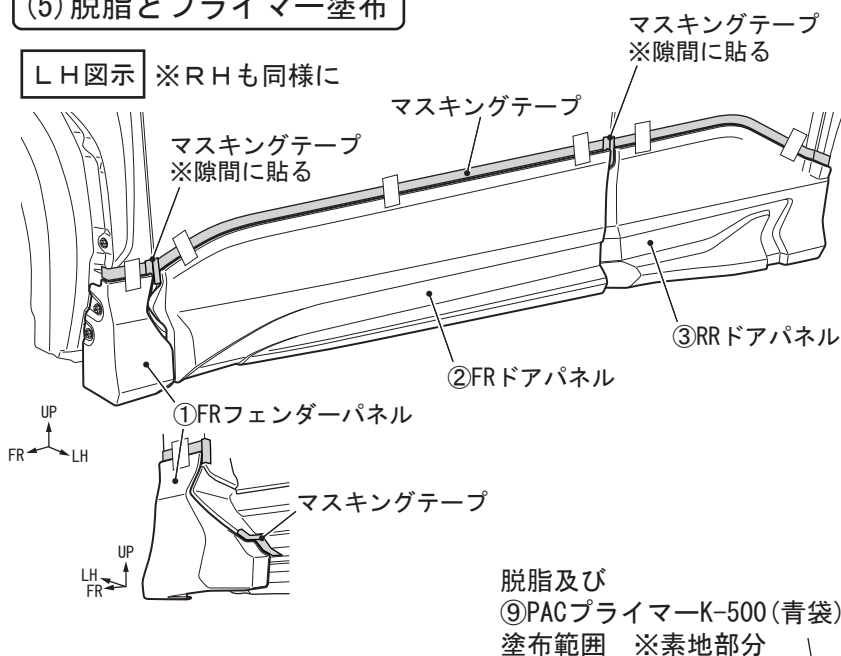
3. ②FRドアパネルを④FRドアインナーに被せ、下面を④FRドアインナーの下面に押し当てながら、⑦Uナットに⑥Bタッピングスクリューで仮締めする。
(5カ所)



前方を車両FRドアにマークしたマスキングテープにモール上端とドアパネル前端を合わせ、後方左図 [D] 部の隙を一定にし、上部をガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)

(5) 脱脂とプライマー塗布

LH図示 ※RHも同様に



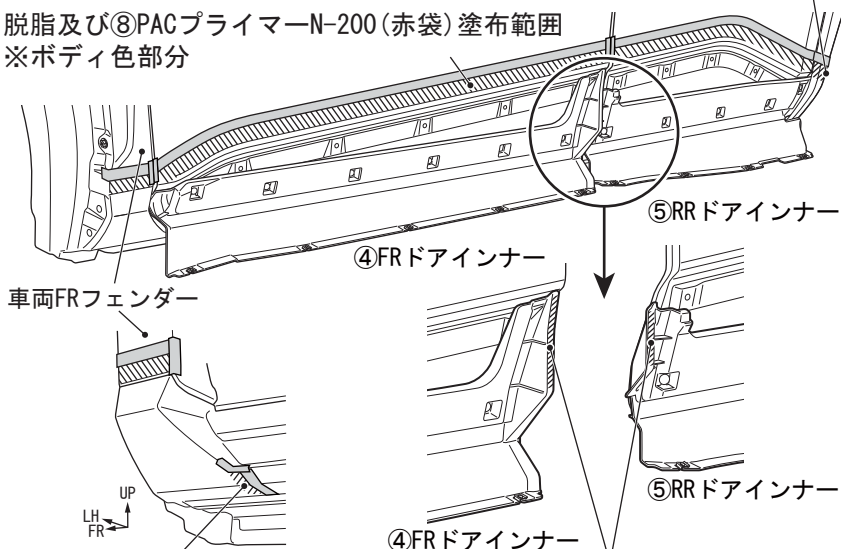
1. ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネルのモール上端及び各パネル間の隙間に合わせてマスキングテープを貼り付ける。
(左図参照)
※各パネル上端の高さ位置出しと脱脂及びプライマーがはみ出さない様にする為、正確にマスキングテープを貼り付けて下さい。

2. ①FRフェンダーパネル下方左図の位置にマスキングテープを貼り付ける。

3. ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネルを取り外す。

4. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を一方向に拭いて脱脂し、ボディ色部分 (斜線) に⑧PACプライマーN-200、素地部分 (点線) に⑨PACプライマーK-500を塗布する。④FRドアインナー⑤RRドアインナーの (斜線) 部を一方向に拭いて脱脂し、⑨PACプライマーK-500を塗布する。

脱脂及び⑧PACプライマーN-200 (赤袋) 塗布範囲 ※ボディ色部分



脱脂及び⑨PACプライマーK-500 (青袋) 塗布範囲 ※素地部分

脱脂及び⑨PACプライマーK-500 (青袋) 塗布範囲

アドバイス

- ・PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- ・PACプライマーは、必ず塗布部位によって使い分けてください。

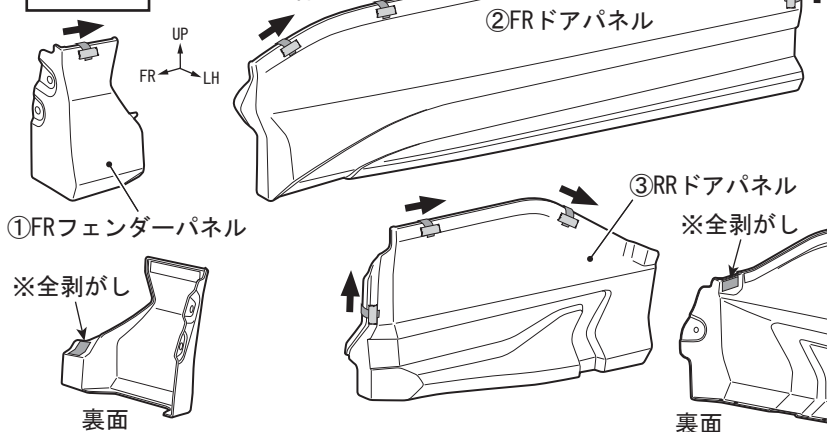
- 塗装部分 : N-200 (赤袋)
- 素地部分 : K-500 (青袋)

(6) 取り付け

→ 矢印は離型紙を剥がす方向を示しています。

LH図示

※RHも同様に

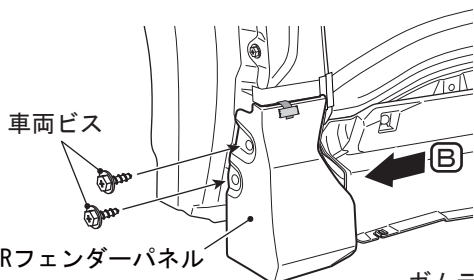


①FRフェンダーパネル

※全剥がし

裏面

裏面



①FRフェンダーパネル

車両ビス

ガムテープ

車両ロッカーパネル Rエンド

ガムテープ

形状を合わせる

[B] 矢視概略図

[側面概略図]

C

[側面図]

6mm(参考寸法)

※前側端を合わせる

車両RRドア段差面から

③RRドアパネル

ガムテープ

③RRドアパネル

車両ビス

⑥Bタッピングスクリュー

[C] 矢視図

車両RRドア

隙を一定

③RRドアパネル

- ①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネルの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
(左図参照)

- ①FRフェンダーパネルを車両の形状に合わせて車両にあてマスキングテープにモール上端を合わせ、タイヤハウス面を車両ビスで仮締めする。

左図 [B] 矢視概略図の破線部

①FRフェンダーパネル端末と車両形状を合わせる。

左図 側面概略図の ▶ ◀ 間

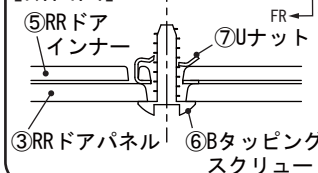
①FRフェンダーパネル端末と車両ロッカーパネルRエンドの幅を一定にしてガムテープ等で仮固定する。

(左図参照)

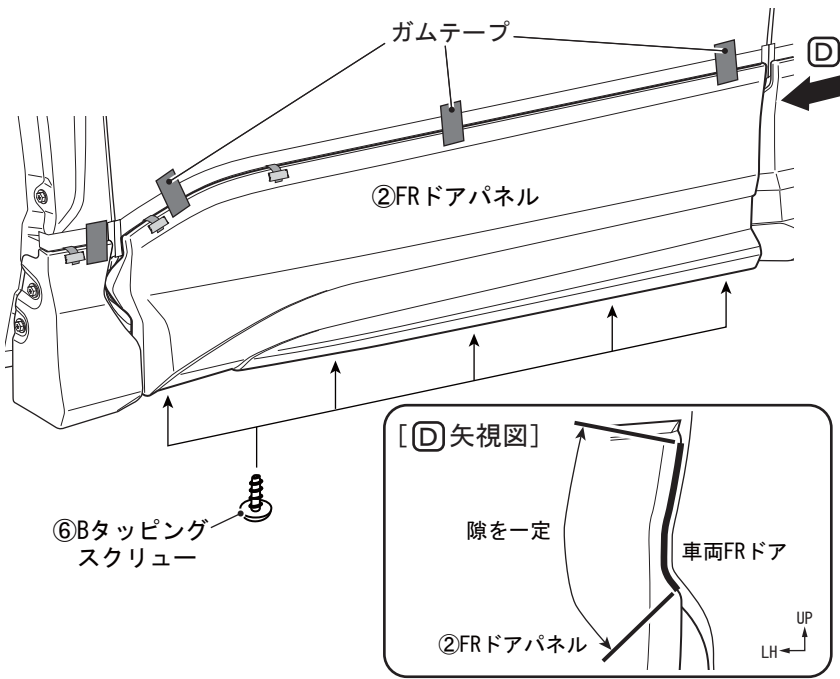
※取り付け位置を合わせる際に、下側の両面テープ離型紙全剥がし箇所が先に付かない様に注意して下さい。

- ③RRドアパネルを⑤RRドアインナーに被せ、下面を⑤RRドアインナーの下面に押し当てながら、⑦Uナットに⑥Bタッピングスクリューで仮締めする。
(4カ所)

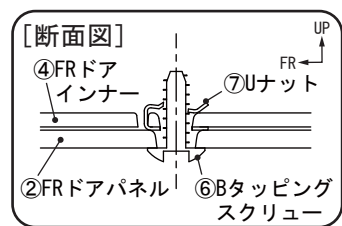
[断面図]



マスキングテープにモール上端を合わせ、タイヤハウス面を車両ビスで仮締めし、前方左図 [C] 部の隙を一定にし車両RRドアの段差面から③RRドアパネルの端末を6mm(参考寸法)に合わせ上部をガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)



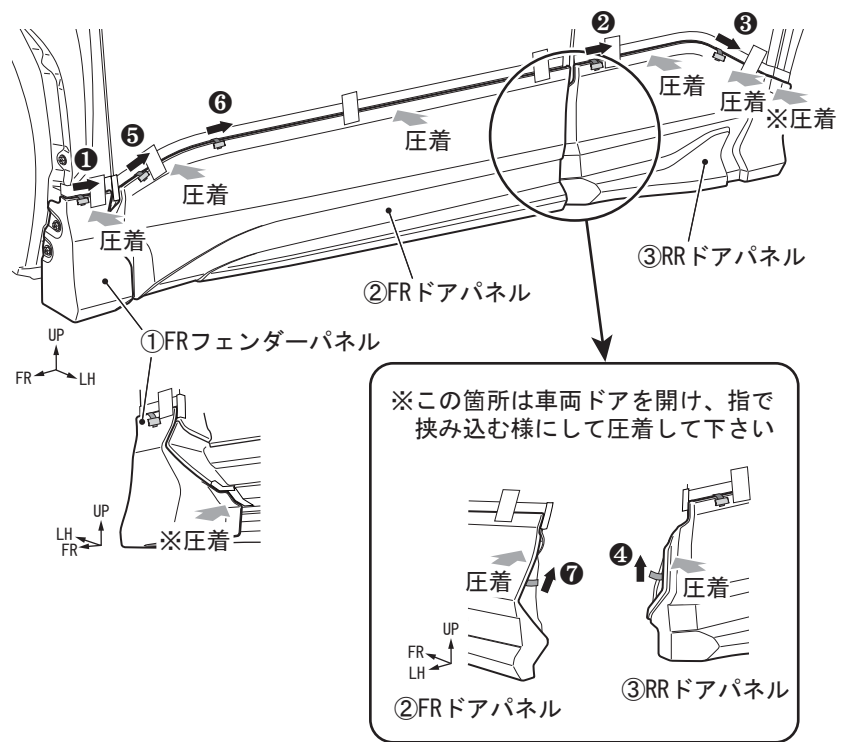
4. ②FRドアパネルを④FRドアインナーに被せ、下面を④FRドアインナーの下面に押し当てながら、⑦Uナットに⑥Bタッピングスクリューで仮締めする。
(5カ所)



マスキングテープにモール上端とドアパネル前端を合わせ、後方左図 D 部の隙を一定にし、上部をガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

※離型紙を引き抜く順序

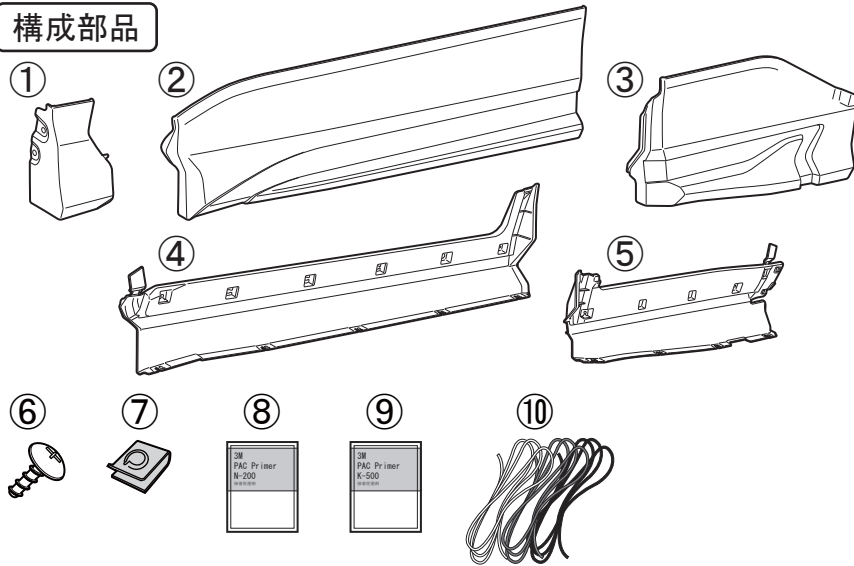


5. 取り付け位置が変わらない様に、①FRフェンダーパネル、②FRドアパネル、③RRドアパネルの高さ、バランスを再確認して、①FRフェンダーパネル → ③RRドアパネル → ②FRドアパネルの順に取り付け、離型紙を①から順に矢印の方向に引き抜き圧着する。
左図※圧着の箇所（離型紙全剥がし）も確実に圧着する。

- 6. RH側も同様の手順にて取り付ける。
- 7. マスキングテープを全て剥がす。
- 8. 取り付けした両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
- 9. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	FRフェンダーパネル (RH/LH)	各1
②	FRドアパネル (RH/LH)	各1
③	RRドアパネル (RH/LH)	各1
④	FRドアインナー (RH/LH)	各1
⑤	RRドアインナー (RH/LH)	各1
⑥	Bタッピングスクリュー (M4×12)	18
⑦	Uナット (M4)	18
⑧	PACプライマー (N-200)	1
⑨	PACプライマー (K-500)	1
⑩	エンドモール	Lグレー:2 Kグレー:2 ブラック:2

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は>PP<です。

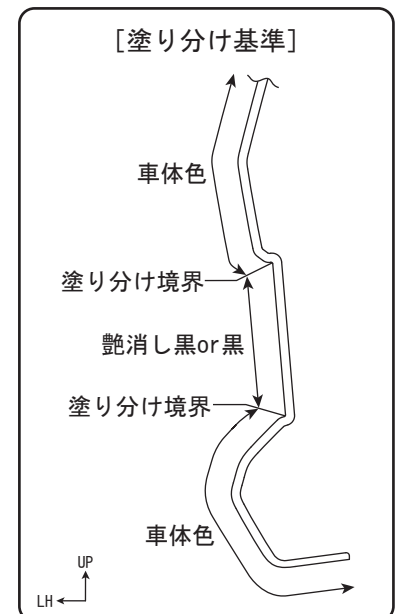
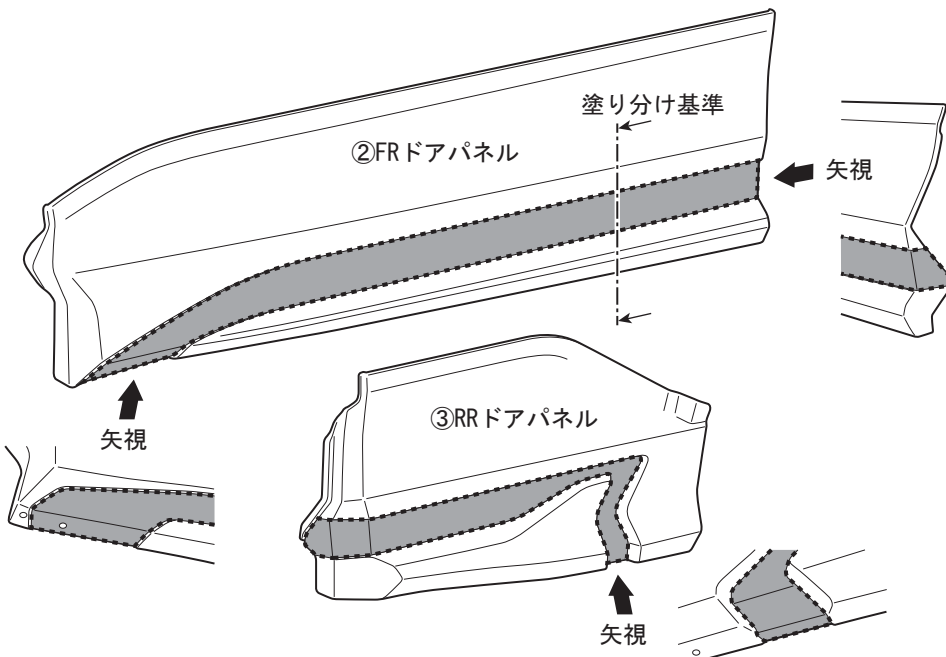
4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑩エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1L0	シルバーメタリック	グレー
1L6	マッシュグレー	ブラック
209	ブラックマイカ	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
5C2	プラスゴールドメタリック	ブラック
8W2	グレイッシュブルー	グレー
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

LH図示 ※RHも同様に [塗り分け範囲] 塗装塗り分け範囲

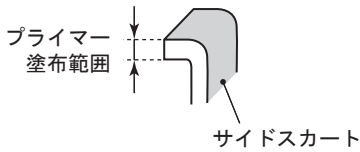
車体色<209>：艶消し黒で塗装
車体色<209>以外：黒<209>で塗装



エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装完了後、⑩エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑨PACプライマーK-500を塗布する。

PACプライマーK-500塗布範囲



アドバイス

- ・⑨PACプライマーK-500はサイドスカートパネル取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑨PACプライマーK-500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ・⑨PACプライマーK-500塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑩エンドモールを貼り付ける。

アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

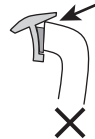
奥まで押し込む



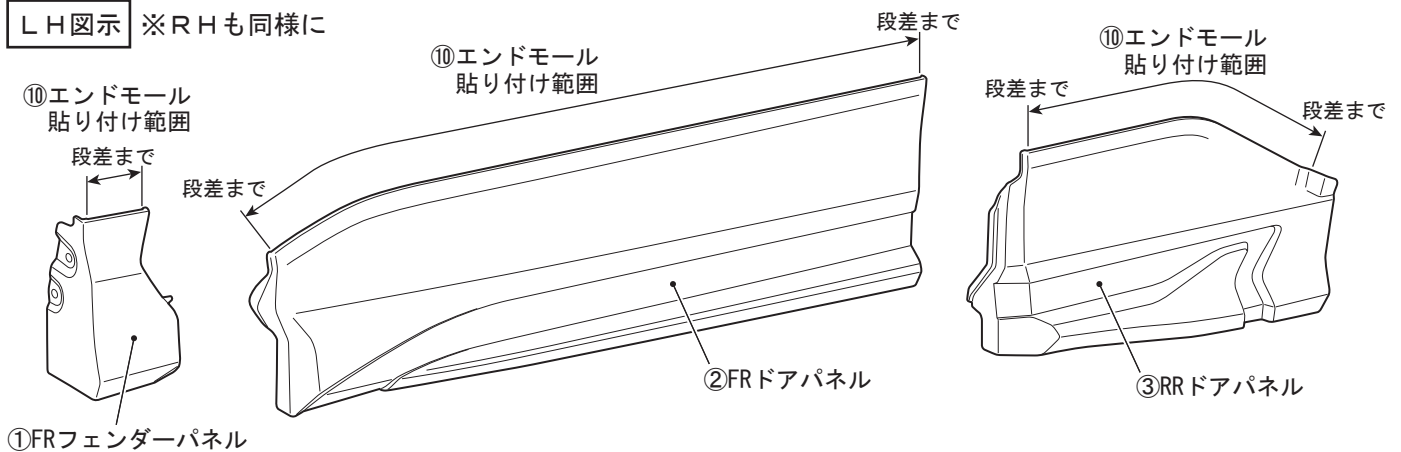
隙間が空いている



傾いている



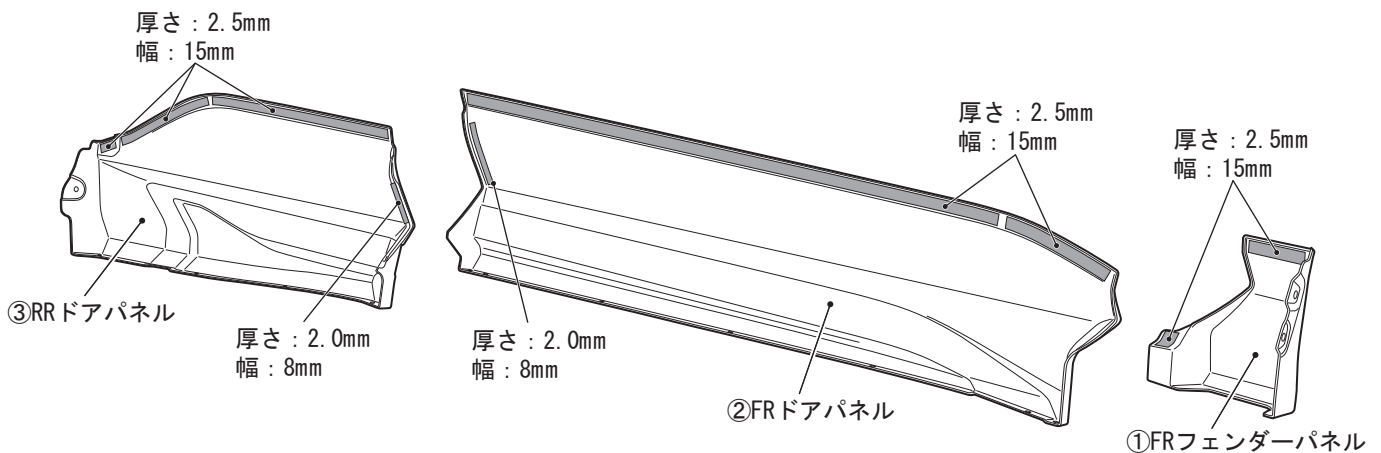
LH図示 ※RHも同様に



補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してサイドスカートパネルの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。(元の位置と同様に貼り付けて下さい。)

LH図示 ※RHも同様に



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

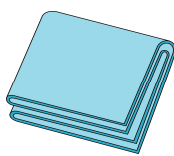


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



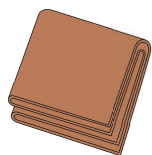
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

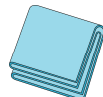
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

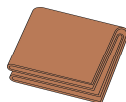
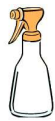


水拭き用バケツ



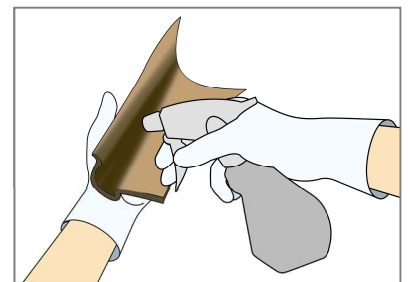
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

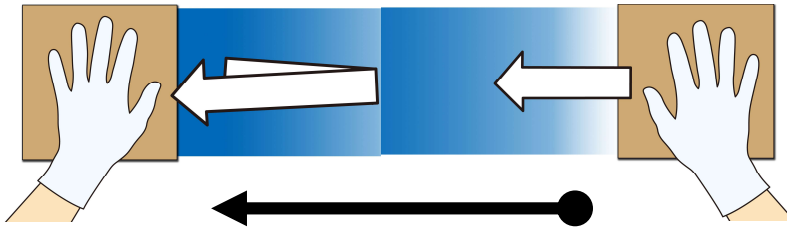
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

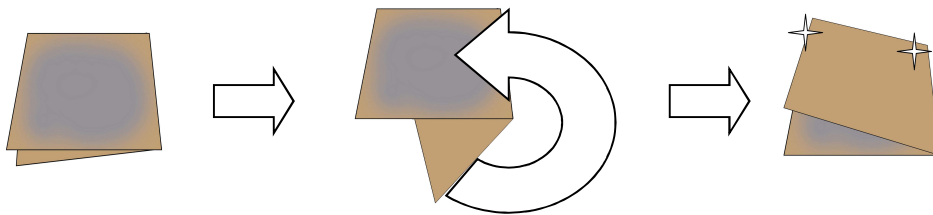
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。